

## 「清水勇人市長と語る」タウンミーティング【西区】

### 〈開催概要〉

日 時：令和5年7月22日（土） 14:00～15:30

会 場：馬宮コミュニティセンター 3階 第2・3・4集会室

参 加 者：14名（傍聴者0名）

市出席者：市長、脱炭素社会推進課

事 務 局：市長公室秘書広報部広聴課

開催テーマ：地球温暖化対策について考えよう ～みんなでアクション とともに未来へ～

### 参加者との意見交換

#### ●参加者

##### <発言1>

私からは、身近に始める地球温暖化対策について、私が実践していることをお話しします。

私は現在、高校で環境や農業について勉強をしています。そこでの学びを生かして、家や学校で植物を育てて、緑を増やす取組を行っています。植物は二酸化炭素を吸収し、酸素を排出するだけでなく、私が家で育てているアサガオとゴーヤは窓を覆うように仕立てることで、室内への暑い日差しの差し込みを防止してくれます。これによって室温が下がり、冷房の消費電力を抑えられる大きなメリットがあると思います。また、誰でも簡単に始めやすいのがこの取組の特徴だと考えています。私一人で地球温暖化を改善することは難しいですが、より多くの人々が家庭で緑を育てることで、さいたま市から他の市に向けても緑のまちを増やしていければ、地球温暖化を改善する一つのきっかけになるのかなと思います。

##### <発言2>

福岡県や愛知県の関西方面に被害をもたらした今回の集中豪雨をはじめ、自然災害、季節に関係なく一方的に突然襲ってくる集中豪雨が至るところで発生し、それに伴い線状降水帯が同時に起きることで、大雨による土砂崩れが発生し、そのために痛ましい被害現状がテレビで報道されています。そして、地震や落雷などの影響による災害も、全て地球の温暖化に関係していると思います。自動車でも、排出ガスを出さないために、ガソリンから切り替わる電気自動車の普及が、現代の社会に求められている状況です。

いずれにしても、地球上では今後避けては通れない問題に直面していることは確かです。それと、人間の一方的な考えで大量生産をし、それと同時に、廃棄しているものも多くあります。地球のあちこちに廃棄物があふれていることで、人間が地球を汚してしまっています。この問題が地球の温暖化につながっている、関係しているので、人間が一人ひとりこの地球を汚さないように心がけ、努力することが必要だと考えています。

##### <発言3>

私からは、今後重点的に取り組んでほしい分野について述べさせていただきます。

私の意見としては、ビオトープを増やしてほしいと考えています。ビオトープを増やすことによって生態系が豊かになり、結果的に環境がよくなります。森林が増えることによって二酸化炭素を吸収する量が増えます。その結果、環境がよくなるので、是非そちらの方の意見を通していただけたらなと思います。

#### < 発言 4 >

私からは、さいたま市の地球温暖化対策について、現在何をやっているかとか、その計画に対するメリット、デメリットをもっと知る機会が欲しいなと思いました。今回のタウンミーティングの資料をいただくまで、例えば電気自動車の充電機器を家に設置するのに補助金が出ることを知りませんでした。家で使用している車も電気自動車なのですが、存在を知らないということでびっくりしました。また、さいたま市の車で電気自動車や水素自動車を使用しているのを聞いて、父親に、電気自動車のメリットとデメリットを尋ねたところ、太陽光発電によって充電している場合、集中豪雨などで使えない時期があることや、電気を発電するのに今は火力発電をしていて、二酸化炭素を結局出している部分はあるというのを聞いて、デメリットがあることを知ることができたら嬉しいなと思いました。支持するのに対して、次は改善してみようみたいなのを市民側から把握することができるので、最終的にメリットやデメリット、こんな活動をしています、というのを知る機会が増えたらよいなと思いました。

#### < 発言 5 >

少し前に環境省から依頼された「ありがとう あらかわ」の絵本にちょっと携わった者なのですが、そこでさいたま市の、特に西区なのですが、歴史を知り、そしてこれから未来にどうやって向かっていくかをすごく考えさせられました。その中で、今回脱炭素先行地域に市庁舎ができますよね。その市庁舎をさいたま市、世界、日本中のレガシーになるような市庁舎になってほしいと思っています。そこから始めることによって、その意識が市民にも伝わると思うので、市庁舎ができる過程や、2050年の温室効果ガスの50%削減に向けて、どのような取組を行っていくのかを、どんどんアピールしていただきたいと思います。せっかく市庁舎が建つのであれば、その先進的な活動、さいたま市としての頑張っているところをアピールしてもらいたいと思います。

それと、身近な生活なのですが、今までの生活の中で分数の生活をしようと思っています。今まで10使っていたものを10分の1でも、5分の1でも、2分の1でも、自分のできる範囲でその生活を見直していく。捨てるものに対しては2倍、3倍使えるような生活スタイルに変えていく意識を、皆さんに持ってもらえるような意識改革の方法をもう少し考えていただきたいと思います。

#### < 発言 6 >

私からは、今後重点的に取り組んでほしい分野についてお話します。私たちは学校でよくSDGsのことや、地球の温暖化のことを調べて、自分たちでできることはないかと考えるのですが、何をやるとしても、規模が大きくなってしまい、学生だけでは取り組めないため、多くのことに今は他人事、まあ大丈夫だなと思ってしまっている現状があります。リサイクルや、エアコンの温度を上げるなど、私たちのとりかかりやすい、やりやすいことから行うために、リサイクル品の回収場所を増やしてほしいと思います。

#### < 発言 7 >

台風のことなのですが、2019年の台風19号の際に、治水橋のところがあふれそうになり

ました。入間川水系の越辺川や都幾川は決壊して、大分あふれました。治水橋のところは助かったと思うのです。あれがあふれなかったら、治水橋のところであふれて、西区の辺りが水浸しになるところだったと思います。その対策で堤防を4メートル上げていますが、道路を上へ上げることは相当難しいです。治水橋の道路のところは上げられないですし、あとは埼京線のところは線路を上げることも難しく、なかなかできるものではありません。そうすると、水が上がってきたときに、決壊してしまい、被害が発生する危険性が高いです。その対策をしてもらいたいことと、あと大久保浄水場が浸水すると大きな影響が出ると思います。浄水場に浸水被害が出ると断水するので、その時に他のところから水を回してもらうなどの対策をしてほしいと思います。東京の方はそんなに水位は上がり、大体埼玉の方で川があふれてしまっています。こっちの方は横に走っている堤防がありますので、その辺の水位が上がり、あふれる可能性が高いのです。その辺の対策をお願いしたいと思っています。

#### <発言8>

高校生に対して地球温暖化の問題を身近にしていくために、私は、ボランティアをよくやる部活に入っていて、ボランティアがしやすいように、市が仲介して、ボランティアの団体と高校生を結びつけるような仕組み、取組をしてほしいと思っています。

#### <発言9>

僕たちはもっと市からの呼びかけを増やしてほしいと思っています。僕個人的なのですが、この資料を見るまでさいたま市の取組をあまりよく知らなかったの、これから生きていく学生たちがもっと意識を高めていくべきだと思います。なので、コンビニやスーパーマーケットなどにポスターを設置したり、各市内学校に何枚かポスターをつくってもらい、様々なところで公表したりすることで、他の学生たちがもっと意識を持って、まずは学生からいろいろな人たちの意識を持たせていくことができると思いました。

次に、電気自動車についてなのですが、電気自動車には排出ガスが出ないメリットもありますが、製造時に普通の車よりも約2倍の二酸化炭素を排出していて、電気をつくる際にも二酸化炭素を発生しています。また、電池にはレアメタルを使うため、採掘における二酸化炭素が増えてしまう問題があると考えます。また、ガソリン車とは違い、リサイクル法がないため、ほとんどのバッテリーが廃棄されます。そのためにも再生可能エネルギーなどの発電方法を行うために、太陽光パネルの適切な廃棄方法を伝えていくべきだと考えました。

#### <発言10>

学校では、エコ活動の一環として、ペットボトルキャップの分別を行い、リサイクル活動に貢献しています。また、一部ではありますが、緑化を進めようという意見が最近出ています。しかし、建物に負荷がかかる、コストがかかる、近隣の迷惑になるなど、デメリットがたくさんあると思います。そのため、高校独自で進めるにはとても難しいのが現状です。そこで、さいたま市など自治体から緑化の推進や、そのための補助金などの交付は可能なのか教えていただけると幸いです。

#### <発言11>

太陽光発電設備など、自然エネルギーでつくられた電気が、全体の何%ぐらい使われているかを市のホームページなどで見える化をしてほしいのと、新しいエネルギーについて知る機会が欲しいです。

#### <発言12>

先ほど皆さんのお話と、あと市長のお話を総合的に考えますと、西区はホームページな

どで、水と緑のまちとうたっています。先ほど市長からも子育てのしやすい新しいまちだということで紹介を受けている地区なのですが、西区で、美園のようなモデルシティを展開したらどうなのだろうと、大胆に提案させていただきます。例えば今お話があったように、具体的には各家庭で例えば雨水を貯水ますなどにためて、その水をまいたり、緑化に使用したり、各家庭のコンポストを活用して、なるべく生ごみを出さない。あとは太陽光発電設備を各家庭にも導入して、家庭で、地産地消という言葉のように、自産自消のような1家庭で全てのエネルギーを賄える、実現できるかどうかはわからないのですが、そういったものを目指したまちづくりを、子育てのしやすい西区で1つモデルとして展開してみたいかがでしょうか。

先ほど他の方もおっしゃったのですが、荒川に近い隣接している区ですので、災害、水害に対しては皆とても警戒しており、昔からの歴史を見ますと、水に対しての恐れが当然あると思います。そういったところをうまく区、まち単位で話し合い、実際に災害が起きたときに、対処できるコミュニティが持てる取組を、ここをモデル地域として展開してみたいかという提案です。是非検討していただければと思います。

### <発言13>

2009年に市長が当選されました。公約としてしあわせ倍増計画、たしかそれを伺ったような気がいたします。1期、2期、3期、4期目、4期目と言えどもうすぐ16年です。期を追うごとに本当にいろいろな構想を立てていただいて、また一般市民のイベント等も含めて、本当に幸せ倍増計画に向かっているなど尊敬をしています。その中で、今回は地球温暖化をテーマということですが、地球温暖化と聞きますと、私は1970年にビル・クリントン大統領の時に副大統領をされたアル・ゴアさんの「不都合な真実」という本、それを思い出します。その時本は買ったのですが、こんな厚い本で、最後まで読み切れなかった記憶があり、今から考えると53年前になるのですよね。もう半世紀以上前からそういう提案があったにもかかわらず、未だにこの地球温暖化について取り組もうという話ですよ。

今、高校生のいろいろな方から御案内があったのですが、電気自動車とかは最近の話であって、もう53年前から地球温暖化に関する提案があったことを、世界中でどういうふうに取り組んでいるのかなと思っていました。ところが、なかなか進んでいません。今回市長がタウンミーティングで一般の市民の方といろいろな場所でこういうお話をされるということで、興味があって、地球規模のものがさいたま市としてどういう取組をされるのかなと興味があって、本日は参りました。

その中で、先ほど脱炭素社会推進課という課名を聞いて、あまり身近な名前ではないのですが、これは本当にその気になっているのだなと率直に感じました。これからどういう取組をされるのかわかりませんが、本当に地球の温度が何度上がるかで随分環境が変わってくると思っています。身近な存在としては、電気代だとかにも影響して、しかも夏場では、今平均28度が望ましいと。冬場では20度ぐらいが望ましいとあるのですが、なかなか知っている人は知っていても、知らない人は知らないというようなことがあります。

地球温暖化は英語で何て言うか知っていますか。グローバル・ウォーミングだそうです。世界が温かくなるということらしいのですね。地球温暖化というと何から始めるのかな、何を協力できるのかなとなるのですが、私は1つの提案として、市内のあちこちに英語があり、またインバウンドの世界でもありますから、グローバル・ウォーミングという文字を置いて、これはこういう意味だという注釈を加えて、皆さんにできることが何かあれば、グローバル・ウォーミングとは何だろうということから始まって、少し考えてみようというきっかけになるのではないかなと思います。なので、グローバル・ウォーミングという看板を市の方であちこちに出していただきたいです。予算のかかることですが、是非お願いしたいなと、そんな気持ちがありました。

### <発言14>

この部屋に入りまして、エアコンが効いていることにほっとしました。というのは、2階に学童保育があり、そこで少し働いていまして、毎年夏になるとどういわけかエアコンが壊れるのです。部品を探して修理をしてもらって、今年も今もエアコンが効いてない状態で、効く部屋に移動してもらって子どもたちの面倒を見ています。先ほど各小学校には太陽光発電で電気を賄っていると聞きましたので、是非公的なこのような場所にも設置していただいて、エアコンが効かなくて困るような状況にならないようにしていただきたいと思います。

それから、もう一つなのですが、私もそろそろ免許返上の年齢に入りました。ガソリン車はまずいので、電気自動車を買うアイデアもあるのですが、高いから購入は無理で、返上した場合はどうなるのかなと考えてみましたところ、佐知川は大変不便なところで、西区役所に行くには、大宮駅までバスで行って、それから電車に乗って歩いていかなければならない状況です。市内循環バスがスーパーのところには来ているのですが、そこまでお年寄りはず歩いて行けない距離なのです。皆さん、本当に不便してまして、区役所だけでなく、図書館もないし、病院も、西大宮は行けますが、他のところに行くのにはタクシーを使ったりして、大変な思いをしています。ガソリン車をなくして自転車で行きなさいと言われても、周りの環境が整っていなければ、まずそれは不安なのですね。ですから、この環境を整えてほしいです。

1つのアイデアとしては、呼ぶ乗るタクシーという、シェアして乗る車が比較的、いろいろなところに出てきています。近くでは上尾にあるらしいのですが、時間と行きたい場所を言うと、本当に近くまでハイエースのような小さな車が来てくれます。小回りをして、何人かで一緒にシェアして目的地へ行くことで、大変役に立っているらしいです。佐知川は空白地帯と言われているところらしいので、そういったものが普及されれば、運転免許を返上しても安心かなと、そんな思いでいます。

## ◆市長

### >> 発言 1

今高校で環境や農業のことを勉強されていて、御自身も家庭で植物を育てて、二酸化炭素を吸収する、そういった取組をやっているというお話がありました。素晴らしい取組ですね。一人ひとりがそういう思いを持って行動していくことがすごく重要で、一人ひとりでやっている部分で言うと、吸収量は多くないかもしれませんが、でも、それが10人なり100人なり1,000人なりと考えていくと、これは大きな力になっていくと思います。そういった意識を持った学生さんがたくさん増えてほしいなと思っていますし、是非やっている取組もお友達を含めていろいろな方にお知らせいただければありがたいと思います。

### >> 発言 2

地球の温暖化の問題について大変強い危機感を持っていらっしゃるという思いが伝わってまいりました。私たちがこれから地球環境問題について、これは本当に、長い間こういったテーマはありましたが、必ずしも十分に取組んでこられなかった部分もあったのかなと思います。今は毎日のようにこの暑さで、どうしてこんなに暑いのだろうと考えると、これは間違いなく地球温暖化です。私が子どもの頃は30度を超えると結構大騒ぎをしていました。30度超えるのは月に何回かしかなかったと思いますが、今は下手すると30度だったら涼しいなという状況があって、本当に待ったなしの状況にあるのではないかなと思います。私たちもそういう危機感みたいなものを一人ひとりが持ちながら、具体的な取組を行っていくことが重要だと思っています。

### >> 発言 3

ビオトープを増やす、また、森林を増やすことによって二酸化炭素吸収を増やす、エネルギーの使い方だけではなく、緑とか自然を増やしていくことによって吸収する側をもっと増やしてはどうかという御提案をいただきましたと思います。おっしゃるとおりで、これは両方やらないといけないと思っています。エネルギーの使い方だけでは限界もあるし、また、吸収するだけでも、さいたま市は大分都市化もしていますので、難しいところもあります。さいたま市は荒川周辺や見沼たんぼなど、まだまだ貴重な自然が残っている場所もたくさんありますので、そういったところを保全、新たに創造をして、二酸化炭素の削減につなげていくかについても、バランスよく取り組んでいかなければいけないと思います。

#### >> 発言 4

さいたま市が何をやっているのか、またメリット、デメリットなど、情報がまだ十分に行き渡っていないというお話をいただきました。私たちもいろいろな形でお伝えしているつもりですが、やっぱり伝わっていないことを、改めて強く感じているところです。さいたま市では、本日発表したもの以外にもいろいろなことをたくさんやっているのですが、そういったことが市民の皆さんに必ずしも十分に伝わっていません。そして、その成果や結果もお伝えが不十分なのだろうと思います。

1つは、日本全体のデータはあるのですが、都道府県とか、例えばさいたま市でどのぐらいエネルギーが使われているのか、排出量があるのかと言われたときに、今は電力がいろいろな会社から供給されるようになったために、はっきりわからなくなっています。例えば私たちがやった行動が、排出量などにどう反映されているのかを、私たちも知りたいし、それを市民の皆さんにもお知らせする必要があると思っています。自分たちがこれだけやっているのに、全然変わらないという話なのか、少しずつ変わってきているという話なのか、見える化によってお知らせをするのは、さいたま市にとっても、また市民の皆さん一人ひとりにとってもすごく重要なことだと思っています。

これから市民の皆さん、一人ひとり行動を起こしていただく上においては、そういう見える化をする、知っていただくことはすごく重要だと思っています。更に広報や啓発、そういった情報に、学生の皆さんも含めて多くの皆さんが触れられる、そのような機会をしっかりとつくっていくことをもっとやらないといけないと肌で感じています。

#### >> 発言 5

新しい庁舎を脱炭素のシンボリックな施設にしてはどうかという御提案をいただきました。今新しい庁舎の整備計画を策定しているところで、先般、中間報告をいたしました。私たちも新しくできる市庁舎は、脱炭素のシンボリックな場所になるようにしていきたいと思っています。できるだけいわゆるエネルギーを使う量をゼロに、要するに自分で供給、エネルギーをつくって、そこで使う施設にしたいと思っています。そのために今計画をつくっているところです。是非そうしていきたいと思っています。

それから、生活スタイルを変えていくことが重要ではないかとありました。これも本当にそのとおりで、お一人お一人がどう変えていくのかということがすごく重要で、その1つは危機感を認識してもらうことが重要だと思っています。おそらく私たちの世代以上に、若い人たちの危機感の方が大きいのかなと思います。自分たちが大人になって、子どもや、孫を持つような、そんな時代になって、そのときこの地球や、日本は今のまま温暖化が続いたらどうなってしまうだろうと想像するだけで少し怖い感じがします。ですから、それだけやっぱり若い皆さんにとっても大変大きなテーマだと思っています。そういった課題、問題をもう少しかみ砕いて、若い皆さんを含め、市民の皆さんにお知らせをしていきたいし、どうやったらそれが少しでも前進することができるのか、よくすることができるのかを、先ほどのシャワーのお話とか、お風呂の話などもありましたが、そういう具体的なものに落として、お伝えをしていくことが重要だなと思います。そういうこともあわせて取り組んでいきたいと思っています。

## >> 発言 6

学校の中でSDGsをいろいろと調べて、考えていただいているというお話がありました。やはりどうしても身近な問題に非常につなげにくい、地球温暖化という大きな問題になってしまうと、どうしても私たちとあまり直接関係ない、そういった意識になってしまう部分もあるのだらうと思います。地球温暖化の問題をどう私たち自身の生活に、私たち自身に大きな影響になってくるのか、日本にどういう影響になってくるのかを、考えてもらうことがすごく重要だと思います。

これは先日のタウンミーティングでも同じようなお話がありました。今いろいろな学校でSDGsのことを一生懸命勉強してくださって、どうしたらよいのかと考えてくれていて一方、まだ若干他人事的な、地球全体のことで、今私たちの身近に降りかかっているところまではまだ認識をしていない部分もあるのかなと思います。そういう意味では、より具体的に私たちの身近にどうなってくるのかについて、もっとお伝えしながら、先ほどのシャワーであったり、リサイクルであったり、身近な生活の仕方みたいなものを考えてもらう、行動を起こしてもらう、そういった取組をしっかりしていきたいと思いました。

## >> 発言 7

2019年の台風19号の時の話を伺いました。私たちも19号の時に市役所に泊まりました。川がいつ決壊するかどうか、そういう状況を昨日のように思い出しますが、荒川は国が管理している河川ですので、今、国で荒川の第二、第三の調節池を整備する事業をやっていただいています。堤防のかさ上げもやっていますし、あわせて今の荒川の河川敷を二段階で水をためていく形にして、多くの水を貯留できるようにしていこうということで、その工事が行われていて、最終的にできるのは令和10年か12年だったと思いますが、第二調節池についてはもう少し早く一部利用の開始を目指していますが、できるだけ早く改修をしてもらおうということで取り組んでいます。

あわせて、今は道路が低いという話が出ましたが、ちょうど今年完成をしまして、土手と道路の間に陸閘を設置し、押すと自動的に陸閘が閉まって、水が陸閘の高さ分についてはあふれてこない、堤防をかさ上げしたのと同じような状況になる工事を行い、今年4月頃だったと思いますが、供用開始になっていますので、そういった状況が起きたときには、対応もできるようになりました。

また、埼京線のかさ上げについても、これも第二、第三調節池の整備と同時に検討が進められています。これについてももう少し時間がかかりますが、しっかりと実施をしたいと思います。

また、大久保浄水場についても水が出て断水になるということも、当然あり得る話ですが、水については大久保浄水場が使えなくなったときには、他から水を流すような計画になっています。いずれにしても、この水があふれた場合のいろいろな対応がこれから更に必要だと思います。想定以上の雨が年々降るようになって、50年とか100年に1回などと毎年のように言われるような状況になりました。私たちとしても国の大きな事業だけではなくて、流域治水という考え方の中で、学校の校庭に流域貯留浸透施設をつくっていくとか、今岩槻の方では公園の下に貯水池をつくって、そこで一旦水をためて、すぐに河川に流れないようにしていく取組などを行っているのですが、いずれにしても、当初の50年に1回、ピークで雨水が約56ミリ流れることを想定した側溝ができています。ですから、もうそれを今はるかに超えた水量になってきていますので、インフラも必ずしもこれからの豪雨に対応できている状況ではありません。いずれにしても、そういったハード的な整備もしっかりと進めながら、気象の危機に対応していかなければいけないと思っています。

## >> 発言 8

高校生のボランティアをいろいろとやっていただいております。ボランテ

ィアがしやすいような仕組みをつくってほしいとの声をいただきました。ありがたいお話だと思います。ボランティアについて言うと、さいたま市の社会福祉協議会を中心に、おそらく災害時のボランティアであるとか、福祉関係のボランティアだとか、そういったものを適宜募集するという状況です。高校生の皆さん、大学生の皆さん、ボランティアをしてくださる意識が非常に高まってきて、本当に私たちにとっては頼りになる存在だと思っています。

ただ、その情報が必ずしも十分ではないということだと思いますので、もちろん高校生の皆さん、大学生の皆さんにふさわしいといえますか、安全性が十分確保されて取り組んでいただけるようなボランティア活動について、私たちもいろいろな形で学校や皆さんに情報提供ができるようにしていきたいと思っています。

### >> 発言9

さいたま市の取組について、今回初めて知ったというお話をいただきました。タウンミーティングを何回かやっていますが、そういう御意見が非常に多かったです。さいたま市のいろいろな取組について、まだまだ一部分は知っているかもしれませんが、全体、やっていること、なぜやっているのかも含めて知られてない部分もたくさんあると思います。

私たちも電気自動車の普及促進や、電気自動車を乗りやすくするための急速充電器の設置など、これも大体今市内に300か所以上、民間の皆さんにも御協力をいただいて整備しました。そういうインフラ整備をしてきたり、市の車も特殊な車両以外は電気自動車かいわゆるハイブリッド車が大半であったり、移動の問題についてもいろいろな取組をしています。こういった問題を若い世代の皆さんも含めて、いろいろな形でお知らせができるように私どもしていきたいと思ひますし、お知らせをすることによって若い皆さんとも一緒に考えて、また皆さんからもいろいろな御意見が頂戴できるようにしていきたいと思ひます。その辺の工夫をもっともっとしなければいけないと思ひました。

### >> 発言10

ペットボトルのキャップのリサイクルをしていただいているということでありありがとうございます。ペットボトルを捨てる時には大体キャップを外していただいた後、周りのラベルも外していただくとリサイクルがしやすいのですが、そういう一つ一つのことも本当にまだ十分伝わっていないところもあるかと思ひます。

また、学校でいろいろな取組をしていることに対して、いろいろな補助制度がもっとあったらよいのではないかという御提案もいただきました。この辺についてもどのように対応ができるか、また検討をしていきたいと思ひます。

### >> 発言11

見える化のお話をしていただいたと思ひます。見える化をしていくことが意識の高まりにもつながっていくと思ひますし、やっている意味といひますか、効果が理解できるということにもなってくると思ひますので、どのように見える化をするか、国全体としてやっってくださいということだけではなくて、まず私たちができる見える化をきっちりやりながら進めていくことが必要かなと思ひます。これもしつかり進めていきたいと思ひます。

### >> 発言12

美園でやっているスマートホーム・コミュニティのようなものを、西区でも是非やってみたらどうかという御意見を頂戴しました。具体的には雨水の貯水であったり、コンポストの活用であったり、太陽光パネルの問題であったりという御提案をいただきましたが、素晴らしいアイデアだと思ひます。

私たちも今美園で整備したスマートホーム・コミュニティをもっと横展開しなくてはいけないと思ひまして、美園だけでできればよいものではありませんし、美園でも、美



園の一部だけなので、これをどのように横展開して、市内や、さいたま市だけではなく、もっと他のエリアにも、全国にも、世界にも、という思いでやっています。美園でやっていることについては一部大変評価をいただいております、昨年はアメリカの環境保護庁の長官が見に来ていただきました。最新のモデル街区では太陽光発電設備で発電したものを、1回そのエリアの中で大きな蓄電池に集約して、そして適宜電気を流すようにして、要するに地域の中で最適化をしながら、バランスよく電気を供給しています。太陽光による電気は、夏場はたくさん発電できるため、蓄電池にためるわけですが、蓄電池に収まり切れずに無駄になってしまっている、そういった電気もたくさんあつたりもするので、そういうことも含めて、どうやって最適化して活用していくかがすごく重要なことになると思っています、そういったことも含めて、今美園でいろいろな事業をやっています。

そういったことをいろいろな地域に展開したり、この西区の、特に西大宮周辺の新しいエリアにそういったものを導入したりということもすごく素晴らしいアイデアだと思います。今後また更なる検討をしていきたいと思っています。

### >> 発言13

見える化と通じる部分だと思いますが、PRや啓発の大切さ、グローバル・ウォーミングという言葉を使って、多くの皆さんに知っていただいた方がよいのではないかと。問題を投げかけて考えてもらうようにした方がよいのではないかと、こういった御意見だと思います。私たちがどれだけ本気になるかによって、この地球温暖化をどれだけ止めることができるのかになると思います。やり方はいろいろあると思いますが、特にそこが非常に重要な視点だと思いますので、それらについてももしっかり考えていきたいと思っています。

### >> 発言14

公的施設については極力太陽光などをつけて、自然再生可能エネルギーを活用するような形で進めていくべきだという御意見をいただきました。これも私たちもしっかりやっていきたいと思っています。

それから、免許の返納、移動の手段について御意見をいただきました。今、この地球温暖化の問題と、もう一つは高齢化の問題がさいたま市の大きな課題の1つです。お話のように、年齢が高くなったときに免許を返納すると移動手段がなくなってしまう。移動ができないということは社会参加がしづらくなるということです。私たちも地球温暖化の問題もありますし、この高齢化の2つの大きな問題から交通の問題については非常に重視して、様々な実験を行っています。シェアして乗る車というお話がありました。これは美園と岩槻でAIデマンド型の交通システムで、今実証実験をやらせていただいているところです。これらもいろいろな地域で展開できるようにしていかなければいけないと考えていますが、民間の事業者と協力してやっているところですが、まだまだ課題があるので、課題をクリアするためにどうしたらよいかを検討しながら進めさせていただいています。

また、高齢化ということと言いますと、今福祉の施設に御協力いただき、福祉の施設で持っているバスなどで、高齢者の移動や障害者の皆さんの移動などに協力いただくというようなやり方もさせていただいています。

更に言うと、自家用車で皆が移動しますと、物すごい二酸化炭素の排出量になります。自分の車を使う場合には、できれば電気自動車や水素自動車、ハイブリッド車など、なるべく二酸化炭素を排出しない車を使っていたらいいし、できれば、公共交通のバスなどに乗っていただきたいし、そして、バスの場合はどうしてもバス停が、必ずしも近くにならないということもあつたりするので、このラストワンマイル、バス停から自宅までの移動をどのようにするかという課題もあると思っています。例えば民間の事業者と連携して、市内の400か所以上で電動アシスト付きのシェアサイクルを借りられるようにしたり、マルチモビリティシェアリングということで、自転車だけではなくて、スクーターや小型の電気自動車みたいなものもシェアサイクルと同じ場所に設置する取組をしたり、実験として

やっています。あとは将来的には高齢者型向けの車椅子のような形のシェアリングをできないかとか、いろいろなことを考えながら、どのように最適化をしながら交通を守っていけるか、バスもバスの運転手さんが確保できなくなって、非常に厳しくなっている現状もあるなど課題が山積ですが、自動運転の実験もやっています。

私たちの将来の目標は、例えば高齢者の皆さんは少し安めに設定して、月々例えばですが、3,000円とか5,000円とか払うとどの乗り物に乗っても、乗り換えしても同じ金額という、そういうサブスクのような制度ができればよいのではないかなとイメージをしています。そのためには事業者の皆さんの協力が不可欠ですが、ビジネスでもありますので、そういったことも含めて考えながら、まだまだ実用化をするには時間がかかりますが、そういった取組を行っています。

## ●参加者

### <発言15>

今、市長の話と、あと皆さんのいろいろな御意見を聞いて、最後のお話で思ったのが、高齢化が進んでいるのはさいたま市の中で西区が一番だったのではないかなと思うのです。子育て層が増えているのも西区ではなかったかなと。3世代で住める住みやすいまちを目指していくのが必要なのかなと思うのですが、そうすると、足の問題というのが一番で、主要な道路は自転車と車両の区分線はしっかり引いてあるのですが、西区の中でもそれがまだ進んでないところが大多数ではないかなと思います。

あとお年寄りの足がなくて、なかなか地域から出られないとか、自宅からも出にくい環境もあるかなと思います。例えば私は、今90の母と同居しています。同居の前は母は一人で暮らしていて、足がなく、例えば、デイサービスを利用する場合に、送り迎えはデイサービスがしてくれるのですが、結果的に近所の人たちが皆自宅まで送り迎えしてもらって、それぞれのデイサービスに通うとなると、結局地域にたくさんお年寄りがいるのですが、その地域のお年寄りが自分の足でデイサービスまで行って、そこで時間を共有すれば、例えば自宅に戻っても孤立した老人というのが少なくなるのではないかなと思います。ですが今の仕組みだと、どうしてもデイサービスにお年寄りを集めて、そこで何かをして、自宅に返す形が主流になっています。お年寄り一人では移動できないので、同居しているお家の家族がいる家はよいのですが、独居老人が割合的には増えてきていますし、なかなか3世代で同居できる家庭というのは少なくなっていますので、公共施設をもうちょっと細分化して、個人で使えるようなシステムをつくるとか、デイサービスを例えば母は北区の方に行っているのですが、そうではなくて、なるべく自分の地元のところに集約して、そこで周りのお年寄りとコミュニケーションを取る場所でもあるというような、そのデイサービスのちょっと在り方とかも工夫が必要なのかなと思いました。

### <発言16>

お聞きしたいのですが、先ほどさいたま市庁舎の話が出ましたが、この前、市庁舎は新都心のところにできるというのでミーティングがありましたでしょう。あれ、私、行ったのですよ。素晴らしい市庁舎ができるなと思いました。ところが、さいたま市は10区あって、10区それぞれに区庁舎がありますよね。区庁舎があって、市民の要望がそこで大体10区については達せられる状況で、さっきカーボンニュートラルとありましたが、さいたま市庁舎の役割というのは何なのだろうと、あの時疑問を持ちました。単的にお答えいただければありがたいと思います。

### <発言17>

他の人の話を聞いていて1つ思ったのが、公共施設とかに太陽光発電設備とかで電力を供給するお話が出たのですが、例えばこの辺だったら荒川が氾濫して、中学校や高校に避

難したときに、夏場はすごく暑かったり、逆に冬場はすごく寒くなったり、その気温や湿度の変化が激しくて、体育館とかに集まったときに使用する暖房は意外と効くのですが、クーラーは基本なく、扇風機を回しても結局サウナみたいにどんどん蒸し暑くなってしまいます。昔政治か何かのポスターで、体育館とかにクーラーを設置しますというような公約を見たことがありました。難しいかなとは思いますが、防災という観点と、地球温暖化対策として太陽光発電設備を置いているというので、避難する場所の空調設備をどうにかできたら、より逃げ込みやすいのかなと思いました。何かあったらよろしく願います。

## ◆市長

### >> 発言15

移動の関係も含めて高齢化の中でのデイサービスのことで御意見を頂戴しました。できれば本当に身近なところに行けて、しかも車で行くのも重要なのですが、歩くこともやった方が間違いなく機能は落ちないということもあるので、本当におっしゃるとおりだと思います。また今後福祉全体のことを見直し、考えていく中で、できるだけ身近なデイサービスを活用していただくような、そういったことについてもあわせて考えていきたいと思っています。

### >> 発言16

さいたま市役所市庁舎の役割とは何なのでしょうかという御質問でした。1つわかりやすく言うと、大きな企業の本社と支社という考え方もできますし、本社と出先のお店みたいなイメージもあるかと思うのですが、本庁舎でもいろいろな仕事が行われていて、市職員はそこでたくさん働いています。そして、あわせて市民の皆さんの窓口そのものは区役所で完結をしていくわけではありますが、そういった具体的な細かい住民サービスではなくて、例えば、今回のように脱炭素については今後どうするかという計画をつくったりする部署が本庁舎の中であって、本庁舎では市全体のことをいろいろと考えたり対応していく、そういった職員が働いているということになります。

ですので、そういった役割と、あと今市民の皆さんから御要望いただいているのは、災害の時です。これは各区役所があったり避難場所があったりしますが、このときに区役所もはっきり言って手狭でもう本当にいっぱいなのです。ですので、区役所には区役所の防災等の役割がありますが、全体を統括している市役所だからこそこできる防災への取組ということも、これはしっかりやっていかなくてはいけないとか、そういう全体の統括をしていくためのいろいろな仕事をしていくことになると思います。ですので、本社は要りませんよと言われてしまうと、ちょっとつらいところなのですが、そういう役割をしています。事業者の皆さんはたくさん本庁舎に来られるのですが、一般市民の皆さんはなかなか市役所に来るきっかけはあまりないので、だからこそ市民の皆さんと市役所をどのようにつないでいくかということでこの間出た議論は広場の問題であったり、市のいろいろな交流をしていくようなスペースをつくっていくことであったり、情報発信をしていくスペースなど、そういったお話の中で今議論をされているということで御理解をいただきたいと思っています。

### >> 発言17

体育館や学校のエアコンのお話が出ました。さいたま市はあともう数年で中学校の体育館に全て冷房を入れます。そして、小学校については、普通教室には全部入っているのですが、特別教室には今入っていません。それから体育館にも入っていない。それで、それも実施していきたいと思っていますが、これにはかなりお金がかかるということがあって、

今国の制度を使って中学校はやっています。緊防債という言い方をしますが、緊急防災対策の借金をしてやるのです。その借金は国からの補填率がすごく高い借金です。だから、市としてはそれを活用してできるとすごくありがたいわけなのですが、それを延長してくださいと要望していて、それが延びれば小学校にも計画的に体育館に冷房を入れていきたいと思っています。

そして、今コロナ禍の中で、なかなか密集してはいけないということがありましたので、体育館だけではなくて、いろいろな学校の教室なども使って避難ができるようにという方向性も出てきています。そうすると普通教室にはエアコンが入っていますので、夏場時には教室も活用してということになるのかなと思っています。基本的には体育館にもエアコンをつけていく。そうでないと普通の体育の授業も夏場はなかなかできない状況になっていくのかなと思っていますので、そこについては実施する方向で検討しているところです。

随分いろいろ皆さんからたくさん高校生ならではのきめ細やかな御意見もたくさんいただきました。また、大人の方々からもいろいろな御意見を頂戴しました。これから皆さんからもたくさん出ていましたが、市民一人ひとりがどのようにこの地球温暖化対策をしていくのかをしっかりとその意味、その必要性を理解してもらいながら行動に移してもらう。それが最重要だと思います。それらを仕掛けていくための、ただ我慢してください、我慢してください、これやってくださいというだけだとなかなか難しいと思いますので、それをいかに誘導していくことができるか。ある意味ではゲーム感覚で、楽しさみたいな要素も少し入れながら、そういったことに踏み出してもらえるのかを私たちも考えていきたいと思っていますし、また是非皆さん、こんなやり方をしてやったらもっと広がるのではないかと、ということがありましたら、是非またさいたま市の方にお伝えをいただければありがたいと思っています。

本日は本当に大変貴重な御意見をいただき、大変貴重な機会となりました。これからまた私たちも皆さんからいただいた御意見をしっかりと受け止めながら、また踏まえながら、今後対策、また対応についてももしっかり取り組んでいきたいと思っています。土曜日の本当に皆さんにとって大変大切な時間をこのタウンミーティングに参加していただき、そして一緒にさいたま市の未来、また皆さんの未来について考えられたこと、大変ありがたいと思っています。本当に皆さん、どうもありがとうございました。今後ともいろいろ御意見お寄せいただければありがたいと思います。よろしくお願いたします。

#### ■補足説明

##### 「さいたま市、世界、日本中のレガシーになるような市庁舎にすること」について

「さいたま市新庁舎整備等基本計画（素案）」の基本方針において、『「ZEB」や、「CASBEEさいたま」を含め、できる限り高い環境性能を目指す』ことを掲げております。  
(都市戦略本部 都市経営戦略部)

##### 「第二、第三の調節池の整備」について

国土交通省荒川調節池工事事務所所管の荒川第二・三調節池の事業期間は、平成30年度～令和12年度の13年間としています。  
(建設局 土木部 河川課)

#### 「陸閘」について

国土交通省荒川上流河川事務所所管の治水橋陸閘について、令和5年3月末に工事が完了しました。陸閘は、平常時は県道56号が通行出来るよう開けてありますが、洪水時には閉鎖して、洪水をせき止めるものです。

(建設局 土木部 河川課)

#### 「流域貯留浸透施設」について

本市では、流域貯留浸透事業として、学校・公園などの公共施設などに、敷地内の降雨を一時的に貯留させる流域貯留浸透施設を設置しています。

(建設局 土木部 河川課)

#### 「太陽光パネルの適切な廃棄方法」について

再生可能エネルギーの普及拡大に伴って生じる、太陽光パネルや電気自動車の廃棄やリサイクルの課題に関しては、市としても、非常に関心が高いところであります。

(環境局 環境共生部 脱炭素社会推進課)

#### 「緑地の推進や、そのための補助金」について

本市では、市街化区域等の緑化重点地区において、限られた予算の中で、壁面及び屋上緑化を補助するみどりの街並み助成制度を運用しています。

(都市局 みどり公園推進部 みどり推進課)

#### 「小学校以外の公的施設への太陽光発電設備の設置」について

本市では、環境配慮型公共施設整備方針を設けており、市有施設の新築・建て替えや改修などのタイミングで、再エネや省エネ設備の導入可能性を積極的に検討しております。

(環境局 環境共生部 脱炭素社会推進課)

#### 「公共交通のバス」について

コミュニティバス等の導入については、「さいたま市コミュニティバス等導入ガイドライン」に基づき検討してまいります。

(都市局 都市計画部 交通政策課)